

製品名: GLP-1R ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11472**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:5000-1:10000
分子量	53kDa

抗原情報

遺伝子名	GLP1R
別名	GLP1R; Glucagon-like peptide 1 receptor; GLP-1 receptor; GLP-1-R; GLP-1R
遺伝子 ID	2740.0
SwissProt ID	P43220
免疫原	抗血清はヒト GLP1R 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 101-150

背景

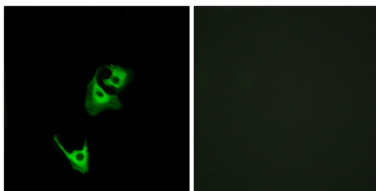
グルカゴン様ペプチド 1 受容体 (GLP1R) ヒト この遺伝子は、グルカゴン様ペプチド 1 (GLP-1) ホルモンの受容体として機能する 7 回膜貫通型タンパク質をコードし、グルコース誘導性インスリン分泌を刺激します。細胞表面で機能するこの受容体は、GLP-1 およ

び GLP-1 類似体に反応して内部移行し、インスリン分泌につながるシグナル伝達カスケードにおいて重要な役割を果たします。また、動物モデルにおいて神経保護作用も示しています。この遺伝子の多型は糖尿病と関連しています。このタンパク質は、2型糖尿病および脳卒中の治療における重要な薬物標的ですが、この遺伝子の選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2016 年 4 月],機能:グルカゴン様ペプチド 1 の受容体です。この受容体の活性は、アデニル酸シクラーゼを活性化させる G タンパク質によって媒介されます。 ,オンライン情報:グルカゴン様ペプチド 1 のエントリ,類似性:G タンパク質共役受容体 2 ファミリーに属します。 ,

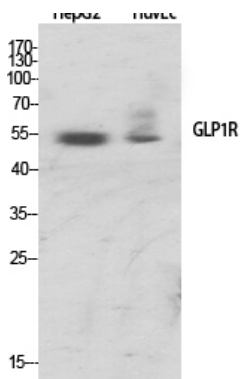
研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;

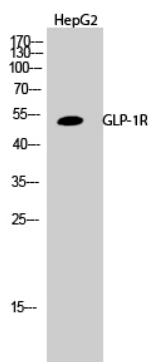
画像データ



GLP1R 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした画像です。



GLP-1R ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



GLP-1R ポリクローナル抗体を用いた HepG2 細胞のウェスタンブロット解析